

吾人ト云々現下ノ經濟的難境ヲ知ルルハ非ズ、彼ヲ全生活係託ヲ求ルニラス  
 唯求ルニ至ルハ職工ニ對スル正キ理解ト比シ其境ニ對スル最低生活ノ工賃ト其ニ伴  
 フ極メテ廉少ノ物資ナリ、此ハ工場主ノ右要ホラシテ職工全員ヲ解雇シ現在ノ  
 弟子ニ更ニ地方ヲ物色シテ留メ付ルハ父兄ヲ憐矜シ所策ヲ以テ其子弟ヲ連出シテ  
 之ヲ解使シ取取の手段ヲ以テ營業ヲ繼續セシトス其行非ナラズヤ  
 然レテ我等ハ此ノ前代未聞ノ不況ニ對シテ老幼ノ父母ヲ抱テ解雇ヲ言渡シ路頭  
 ニ迷ハスハナラズヤ失業ノ憂豈慘ナラズヤ  
 茲ニ於テカ吾人ハ此横暴ニシテ電ヲ切解ナキ小泉工場主ノ態度ニ感通スル能ハ  
 ズ、斯然其ヲ彼ノ非行ヲ共論ニ許シ以テ彼ノ良心ノ覺醒ヲ促スル徹底的ニ之ヲ糾彈  
 スルヲ以テ

昭和五年八月二十五日

関東美術友禪工組合  
 小泉友禪工場争議團  
 本田所字第一〇三番地

504  
 5/624

勞社第二九七五號

昭和五年九月一日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿  
 社會局長 官殿  
 大阪愛知 各府縣知事殿

小泉友禪工場労働争議之関スル件

(第二報)

要旨 八月廿七日以來請願書及意見書呈呈署者ニ於テ四回會見シタルモ所實  
 意見一致セズ又交渉決裂セリ  
 争議團側ハ因重美術友禪工組合各支那及岩倉農本南班社民衆  
 本由介會等ノ名義ヲ得テ氣勢ヲ擧ケ三上日工場ヲ襲撃セリヲ以テ  
 至極者ヲ檢束取辦中

標記労働争議其後ノ状況左ノ通